

# 地域に暮らす女性たちが 自分を活かす小商いを始める コミュニティ

～鶴岡ナリワイプロジェクト(山形県鶴岡市)～



「鶴

岡ナリワイプロジェクト」は、身の回りの「モヤモヤ」や「ちょっと困った」を解決する

小さなビジネス。何もしなければなくなってしまう地域の伝統文化を守る小さなビジネスを「ナリワイ」として、まず月2～3万円の売上から始める地域の女性たちを増やす取り組みです。

プロジェクトを立ち上げたのは、5年前に鶴岡に移住した井東敬子さん。ほとんどの母親が働いている地域で、『働く＝雇用』の発想がなく、年度末になる度に「4月からの仕事、決まっ

てないんだ」と契約更新が話題になるなど、将来を自分決められない不安定な状況を甘んじて受け入れているな、と感じたそうです。

\*

そういうムードや固定観念に風穴を開けたい。自分から動かすにいて、地域が変わるはずはない。自分が欲しい未来は、自分でつくるしかない。そう考える仲間を増やす第一歩として、自分で仕事をつくれることを体験してほしいと考え、立ち上げたのです。

知人や市役所に相談し、2014年度に市の機関の事業の



ナリワイ起業に挑む地域の女性たち

一部として「ナリワイづくり工房@鶴岡」を実施。9カ月間、一人ひとりが小さくチャレンジし、その経験を持ち寄り、月に1回、対話型ミーティングを行いました。そのような実践中心で進めた結果、初年度にも関わらず、布ナプキンの開発・販売、針仕事、フラワーアレンジメントなど、8名の女性が起業しました。

そのプロセスで、起業に無関心に見えていた鶴岡の女性たちも、特に20～40代は起業に興味があることもわかりました。また、小さな手仕事を人に教えて働く母を見て、小学生の子どもが「お母さんカッコイイ！」と言っていました。

一方で、意欲とポテンシャルはあっても、たくさん課題も見えてきました。ニーズを探るマーケティング視点、社会的視点、情報発信や広報、継続できる事業計画の立案と運営の力、お金を請求する営業意欲、地道に取り組む事務局能力など、足りないこともたくさんあります。

昨年度の経験を踏まえ、仕組みをさらに発展させたいと思い、鶴岡市やトヨタ財団の助成を取り、仲間約15名とプロジェクトに取り

## 井東敬子さんからのメッセージ

「ナリワイはやればやるほど、仲間が増え、ぬくもりのある人間関係ができ、手作りの丁寧な暮らしが楽しめます。

ナリワイ起業した人の家族や友人が——子育て中の人、一人暮らしの老人も、障害者も、認知症の人——孤立しないで自分らしく生きいきと暮らしている地域になってほしい。複数の仕事を兼ね備えて暮らす人たちが、山里、海辺、離島など、過疎が進む地域にも住み着く、新しい暮らし方が増えてほしい——それが私の夢です。

裏日本と言われた鶴岡で、これがうまくいけば、日本のどこでもできるはず！と思って、日々楽しく取り組んでいます。ぜひ、全国のみなさんとも意見交換しながら、進めていきたいと思っています」

◎ 鶴岡ナリワイプロジェクト・ホームページ

<http://tsuruoka-nariwai.com/>

組んでいます。今年も1年後のナリワイ起業を目指し、対話型ミーティングでお互いの経験から学びあっています。



ワークショップの様子